

データで見る! さっぽろ経済の動き

札幌の景気は、今どのような状況にあるのでしょうか?

「データで見るさっぽろ経済の動き」では、最近の札幌市や北海道の主な景気指標を時系列にまとめ、データやグラフを交えて、経済の動きを分かりやすくお伝えします。

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

1. 最近の札幌経済の概況	p. 1
2. 主要経済指標の動き	p. 2
(1) 個人消費の動向	p. 2
(2) 住宅着工の状況	p. 4
(3) 鉱工業の生産動向	p. 4
(4) 公共工事の動向	p. 5
(5) 雇用情勢	p. 5
(6) 観光客の動向	p. 6
(7) 倒産状況	p. 6
3. 札幌の産業規模のまとめ	p. 7
(1) 人口の動向	p. 7
(2) 事業所、従業員の動向	p. 8
(3) 市内総生産、市民所得	p. 9
(4) 企業の景況感	p. 10
【参考】主要経済指標	p. 11















1. 最近の札幌経済の概況

平成28年4月-平成28年5月の統計データをもとに、札幌経済の概況を総括しています。

(1) 札幌の経済概況

最近の札幌経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかな回復基調が続いています。

(2) 主な経済指標の動向

項目	概要	前年同月データとの比較	前月データとの比較
個人消費の動向 (p.2)	<ul style="list-style-type: none"> 4月の百貨店・スーパー販売額(札幌市)は392億円で、5ヶ月連続で前年同月を上回る(+0.2%)。 4月の新車登録台数(札幌運輸局管内)は8,564台で、3ヶ月振りに前年同月を上回る(+4.3%)。 	※(百貨店・スーパー販売額) 407億円→392億円  (新車登録台数) 8,207台→8,564台	(百貨店・スーパー販売額) 427億円→392億円  (新車登録台数) 14,301台→8,564台
住宅着工の動向 (p.4)	<ul style="list-style-type: none"> 4月の新設住宅着工戸数は、2,116戸となり、2ヶ月連続で前年同月を上回る(+10.8%)。 	(着工戸数) 1,910戸→2,116戸 	(着工戸数) 1,566戸→2,116戸 
鉱工業の生産動向 (p.4)	<ul style="list-style-type: none"> 4月の鉱工業生産指数(北海道)は、94.0(季節調整済)となり、2ヶ月振りの低下となった(▲0.2%)。 	(原指数) 94.9→91.2 	(生産指数:季節調整済) 94.9→94.0 
公共工事の動向 (p.5)	<ul style="list-style-type: none"> 5月の公共工事請負額(石狩管内)は、247億円となり、4ヶ月連続で前年同月を上回る(+23.9%)。 	(請負額) 199億円→247億円 	(請負額) 410億円→247億円 
雇用情勢 (p.5)	<ul style="list-style-type: none"> 5月の有効求人倍率(札幌圏)は、0.89となり、75ヶ月連続で前年同月を上回る(+0.05ポイント)。 	(有効求人倍率) 0.84→0.89 	(有効求人倍率) 0.89→0.89 
観光客の動向 (p.6)	<ul style="list-style-type: none"> 5月の来道客数(北海道)は、109.8万人となり、19ヶ月連続で前年同月を上回る(+6.8%)。 	(来道客数) 102.9万人→109.8万人 	(来道客数)93.5万人→109.8万人 
倒産状況 (p.6)	<ul style="list-style-type: none"> 5月の企業倒産件数(札幌市)は、10件となり、前年同月より増加(+150%) 	(倒産件数) 4件→10件 	(倒産件数) 7件→10件 

※百貨店・スーパー販売額は平成27年7月の商業動態統計の改正に伴い、調査対象事業所の見直しを行っている。

前年同月比増減率はギャップを調整する処理をして計算しているが、販売額の実数についてはギャップの調整を行っていない。

(3) 参考(他機関の概況判断)

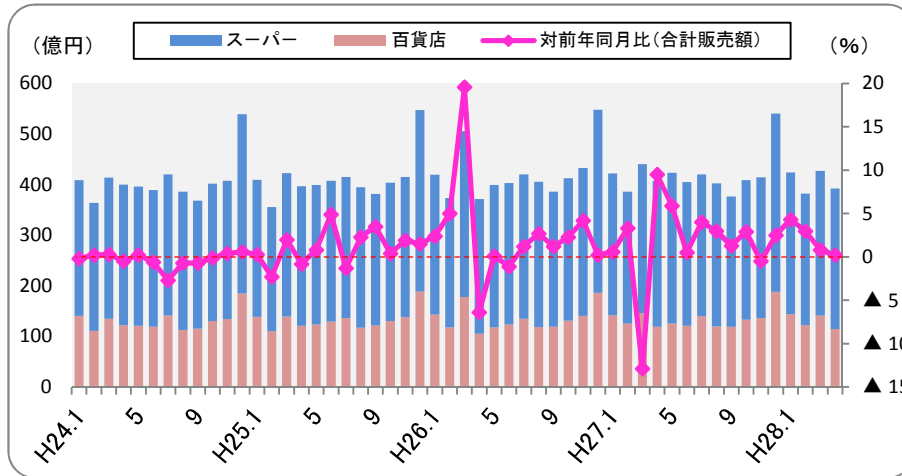
項目	全国の動向	北海道の動向
	内閣府「月例経済報告」 (平成28年6月17日発表)	北海道経済産業局 「管内経済概況」 (平成28年6月20日発表)
全体	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	管内経済は、緩やかに持ち直している。
個人消費	消費者マインドに足踏みがみられるなか、おおむね横ばいとなっている。	持ち直している。
住宅投資	持ち直しの動きがみられる。	持ち直しの動きがみられる。
設備投資	持ち直しの動きがみられる。	減少している。
生産	横ばいとなっている。	横ばいとなっている。
公共投資	緩やかに減少している。	増加している。
雇用情勢	改善している。	改善している。
観光	—	改善している。
企業倒産	おおむね横ばいとなっている。	件数、負債総額とも増加している。

2. 主要経済指標の動き

個人消費、雇用状況、倒産の状況など、最近の主要経済指標の推移をご紹介します。

● 個人消費の動向

【図1】百貨店・スーパー販売額の推移(札幌市)

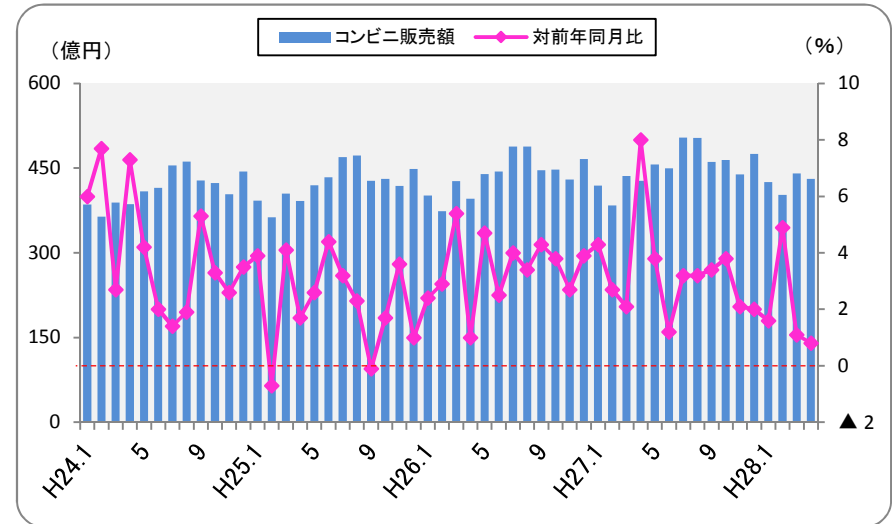


* 品目別百貨店・スーパー販売額前年同月比(札幌市)

	合計				
	衣料品	身の回り品	飲食料品	その他	
合計	0.2	▲ 7.8	▲ 4.4	2.8	1.3
百貨店	▲ 3.6	▲ 10.2	▲ 6.4	0.2	6.5
スーパー	1.9	▲ 1.3	2.4	3.2	▲ 0.5

<資料>北海道経済産業局

【図2】コンビニ販売額の推移(北海道)



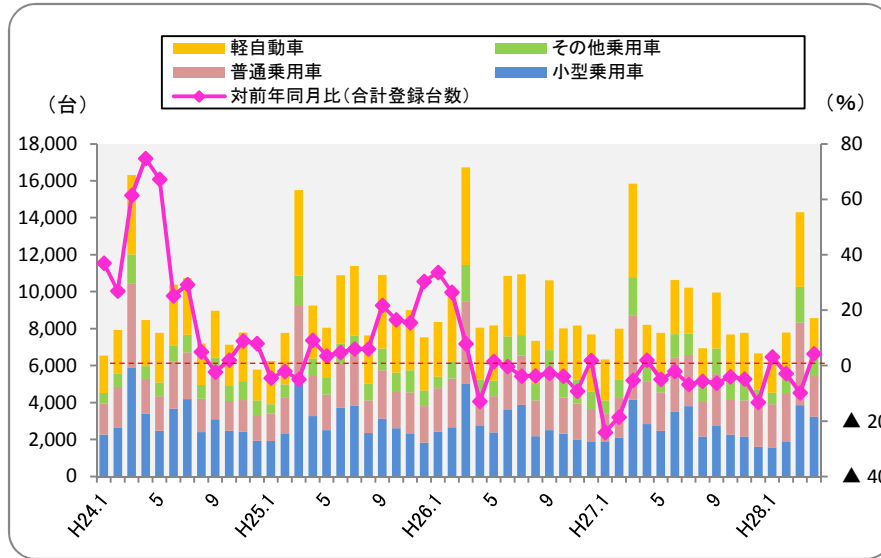
<資料>北海道経済産業局

- 平成28年4月の百貨店・スーパー販売額(札幌市)は、392億円で、5ヵ月連続で前年同月を上回りました(+0.2%) (図1)。このうち、百貨店では前年同月を下回りましたが、スーパーでは前年同月を上回りました(百貨店▲3.6%、スーパー+1.9%)。品目別では、衣料品、身の回り品では前年を下回ったものの、飲食料品、その他は前年同月を上回っています。
- 4月のコンビニエンスストア販売額(北海道)は、431億円で、31ヵ月連続で前年同月を上回りました(+0.8%) (図2)。

※百貨店・スーパー販売額は平成27年7月の商業動態統計の改正に伴い、調査対象事業所の見直しを行ったため、前年同月比増減率はギャップを調整する処理をした数値で計算している。また、平成27年6月以前の調査との販売額の比較は、調査対象事業所の違いを考慮する必要がある。

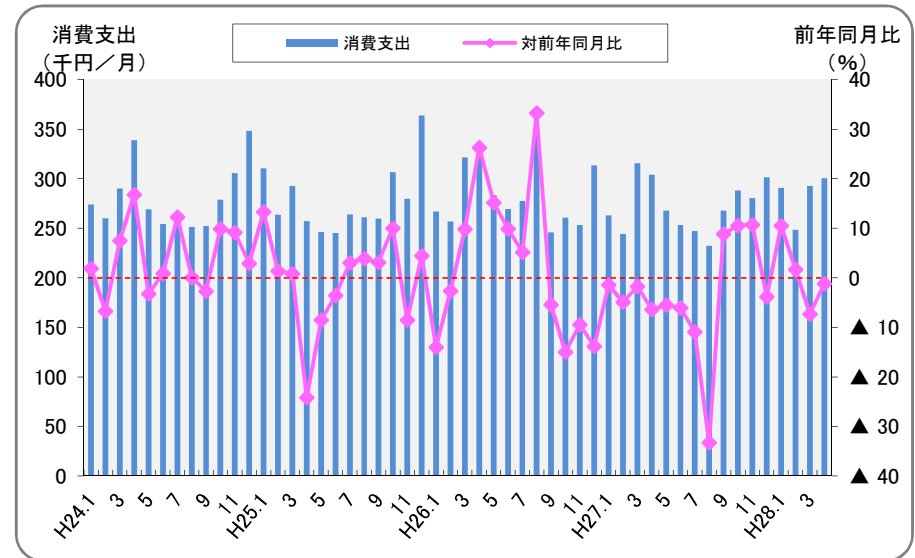
● 個人消費の動向

【図3】新車登録台数の推移(札幌運輸局管内)



<資料> 自販連札幌支部、全国軽自動車協会連合会札幌地区事務取扱所

【図4】消費支出(札幌市)



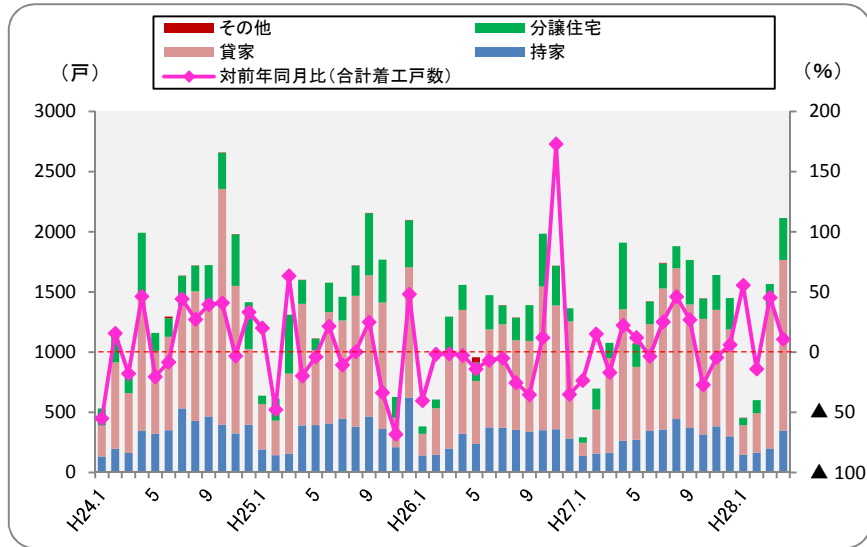
<資料> 総務省統計局「家計調査」

○平成28年4月の新車登録(届出)台数(札幌運輸局管内)は、8,564台となり、3ヶ月振りに前年同月を上回りました(+4.3%)。車種別では、小型乗用車(+14.4%)が前年同月を上回りましたが、普通乗用車(▲3.9%)、軽自動車(▲2.6%)で前年同月を下回っています。

○4月の家計調査(総務省統計局)によると、一世帯当たり(二人以上の世帯)の消費支出は300,614円となり、2ヶ月連続で前年同月を下回りました(▲1.1%) (図4)。

● 住宅着工の動向

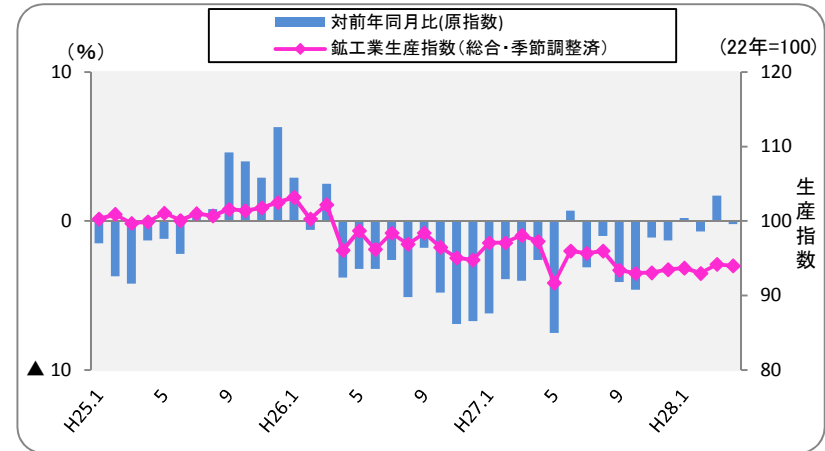
【図5】新設住宅着工戸数の推移(札幌市)



<資料>国土交通省

● 鉱工業の生産動向

【図6】鉱工業生産指数の推移(北海道)



* 主な業種別の前月に対する上昇・低下項目

	業種	季節調整済指数	前月比(%)
上昇	金属製品工業	89.3	+ 21.7
	輸送機械工業	112.7	+ 8.2
	一般機械工業	76.7	+ 5.2
	食料品工業	107.3	+ 1.1
	非鉄金属工業	98.4	+ 0.7
低下	電気機械工業	88.9	▲ 3.7
	印刷業	71.6	▲ 3.8

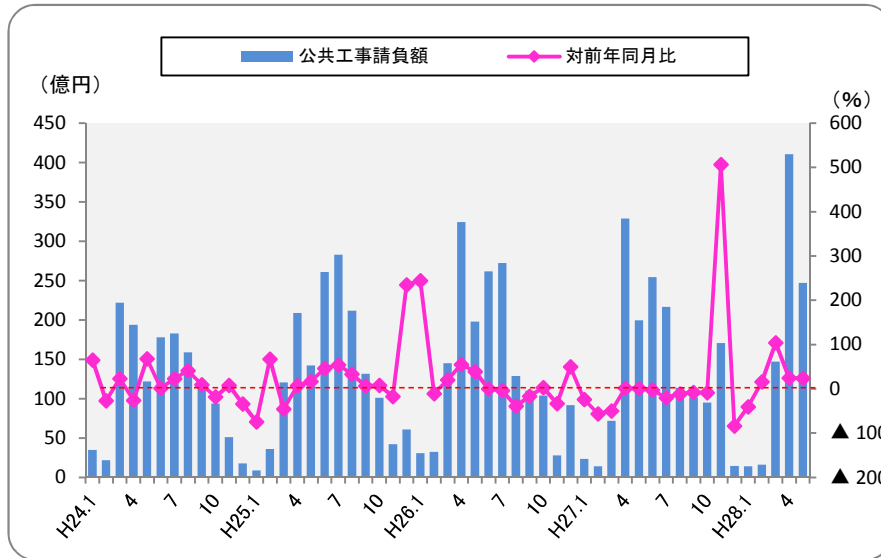
<資料>北海道経済産業局

○平成28年4月の新設住宅着工戸数(札幌市)は2,116戸となり、2ヶ月連続で前年同月を上回りました(+10.8%) (図5)。内訳は、持家が+32.3%、貸家が+29.9%、分譲住宅は▲36.9%でした。

○4月の鉱工業生産指数(北海道)は、季節調整済指数が94.0となり、前月比▲0.2%と2ヶ月振りに低下しました(図6)。

● 公共工事の動向

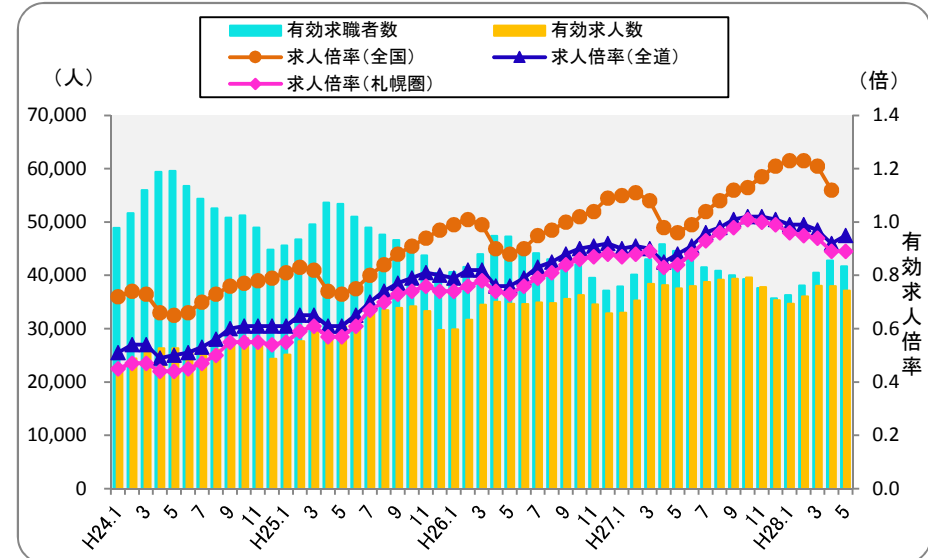
【図7】公共工事請負額の推移(石狩管内)



<資料>北海道建設業信用保証㈱

● 雇用情勢

【図8】求職・求人、有効求人倍率の推移(札幌圏)

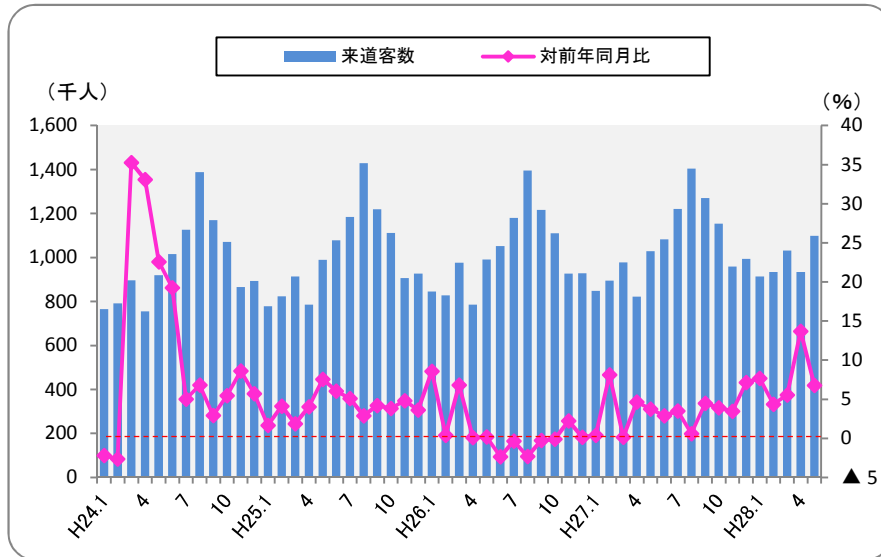


<資料>北海道労働局
 ※札幌圏とは、札幌市、江別市、北広島市、石狩市(浜益区を除く)、当別町、新篠津村を指す。
 ※上記数値は、常用パートタイムを含む。

○平成28年5月の公共工事請負額(石狩管内)は247億円となり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました(+23.9%) (図7)。
 ○5月の有効求人倍率(札幌圏)は、0.89倍と、平成22年3月以降、75ヶ月連続で前年同月を上回りました(+0.05) (図8)。
 有効求人数は3ヶ月連続で前年同月を下回りました(有効求人数▲1.0%)。また、有効求職者数は55ヶ月連続で前年同月を下回りました(有効求職者数▲6.4%)。

● 観光客の動向

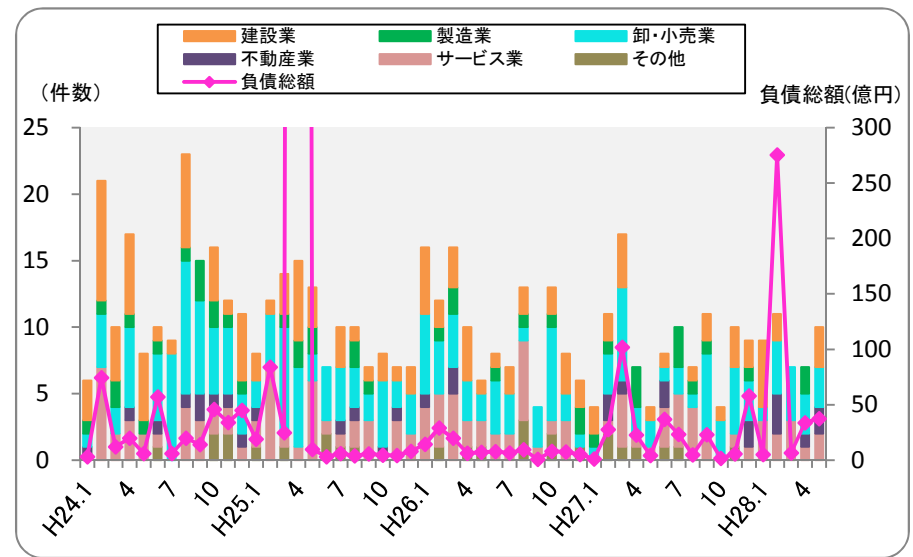
【図9】来道者数の推移(北海道)



<資料>(公社)北海道観光振興機構

● 倒産状況

【図10】企業倒産件数と負債総額の推移(札幌市)



<資料> ㈱帝国データバンク
 ※倒産5法(会社更生法、民事再生法、破産法、商法に基づく特別清算及び会社整理)による負債額1,000万円以上の法的整理が対象。

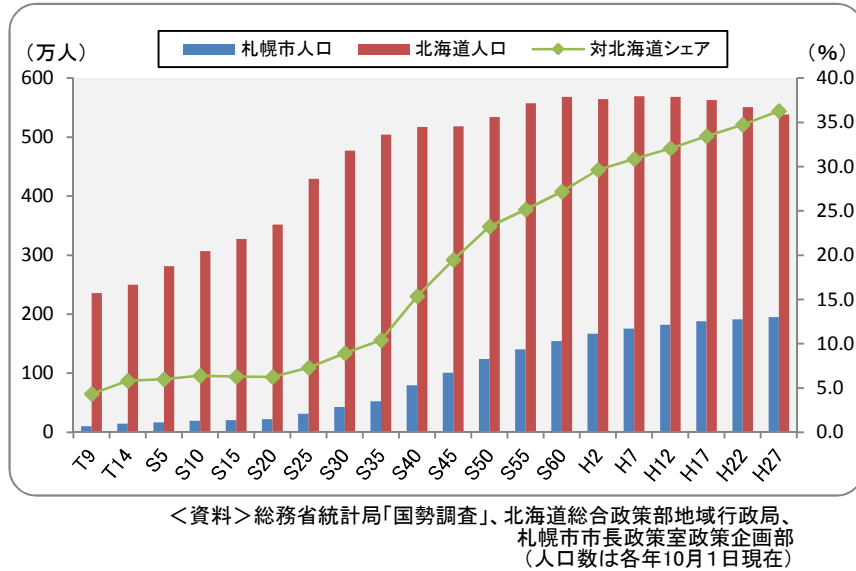
○平成28年5月の来道者数(北海道)は109.8万人で、前年同月を19ヶ月連続で上回りました(+6.8%) (図9)。
 ○5月の法的整理による企業倒産件数(札幌市)は10件で、前年同月より6件増加しました(+150%)。負債総額は38億円で、前年同月と比べ34億円増加しました(図10)。
 なお、負債額が10億円を超える大型倒産は1件ありました。

3. 札幌の産業規模

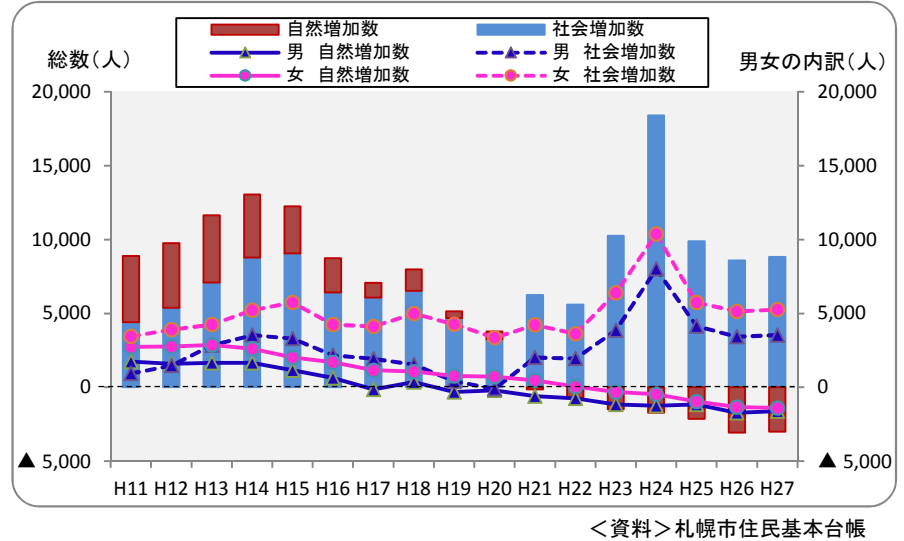
札幌の産業規模を、「人口」、「事業所数・従業者数」、「市内総生産」の分野ごとに紹介します。

● 札幌市の人口

【図11】札幌市・北海道の人口の推移



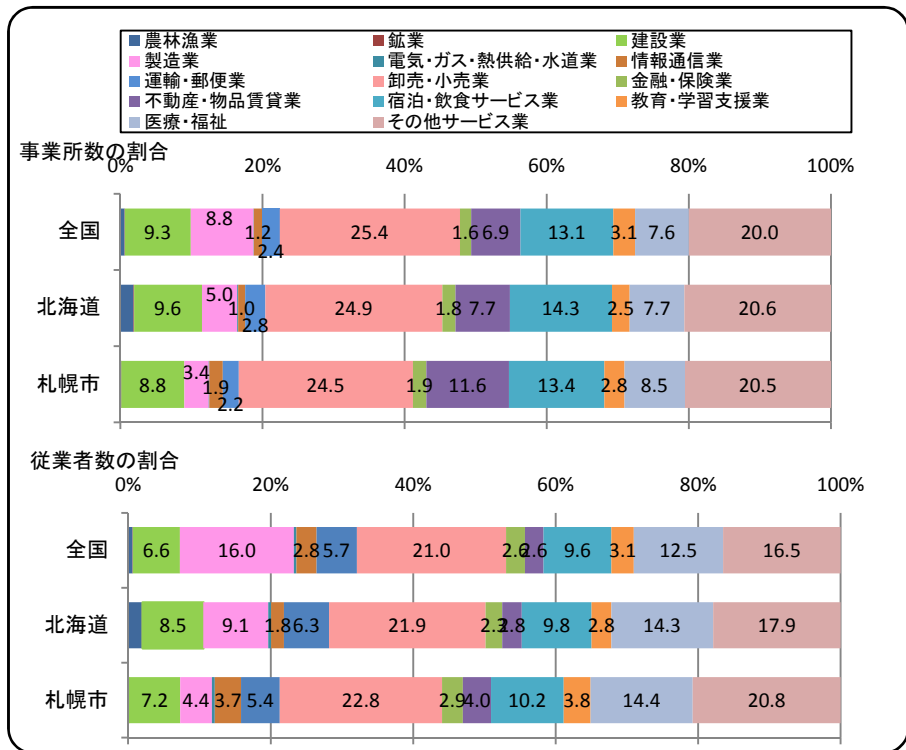
【図12】札幌市の男女別人口動態の推移



- 国勢調査による5年毎の人口推移をみると、近年、札幌市は人口増加率が鈍化傾向にあります。また、札幌市の人口の対全道シェアは年々高まっており、平成27年は36.3%となっています（図11）。
- 近年の人口動態は、自然増加（出生－死亡）は平成21年からマイナスに転じており、少子化傾向が表れています。その一方、社会増加（転入－転出）は平成23年、24年に1万人を超え、その後は8千～9千人台の規模で推移しています（図12）。

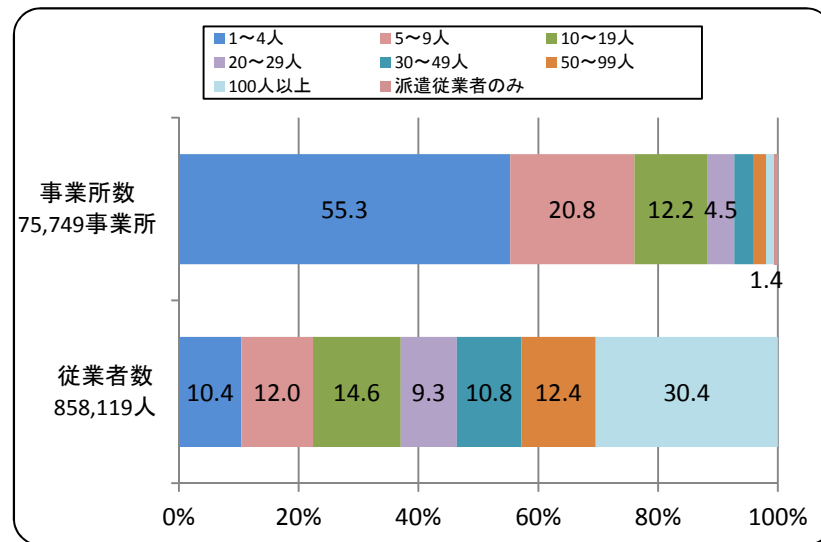
札幌市事業所数・従業者数

【図13】事業所数と従業者数の産業別内訳(民営)(平成26年7月1日現在)



<資料>総務省統計局平成26年「経済センサス基礎調査」

【図14】従業者規模別事業所数及び従業者数の割合(民営)

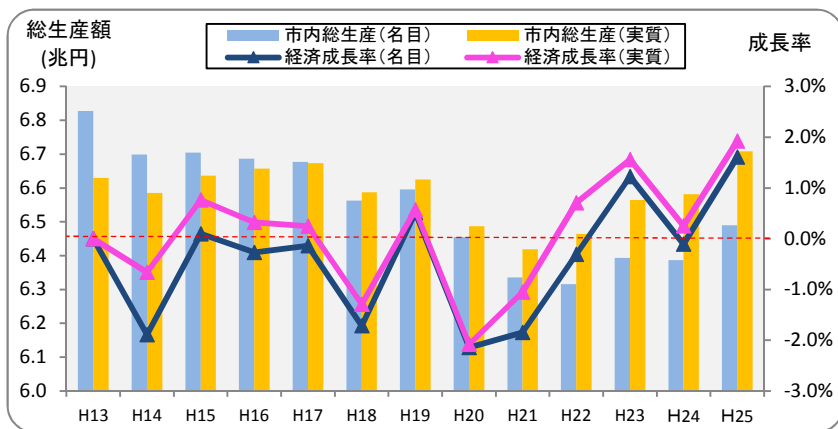


<資料>総務省統計局平成26年「経済センサス基礎調査」

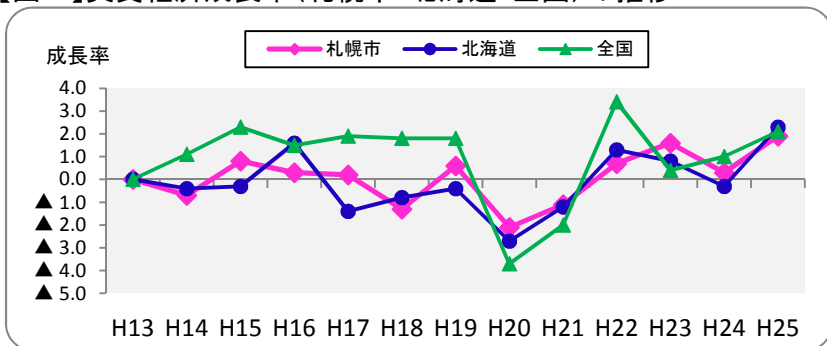
- 札幌市の産業構造は、事業所数、従業者数とともに、全国に比べて製造業などの2次産業の割合が低く、3次産業が中心となっています(図13)。
- 従業者規模別に札幌市の事業所数をみると、従業者「1~4人」が全体の55.3%と半数以上を、事業所規模9人以下の事業所が、事業所全体の4分の3を占めています。また、「100人以上」の事業所は、事業所数では事業所全体のわずか1.4%ですが、従業者数では3割以上を占めています(図14)。

札幌の市内総生産・市民所得

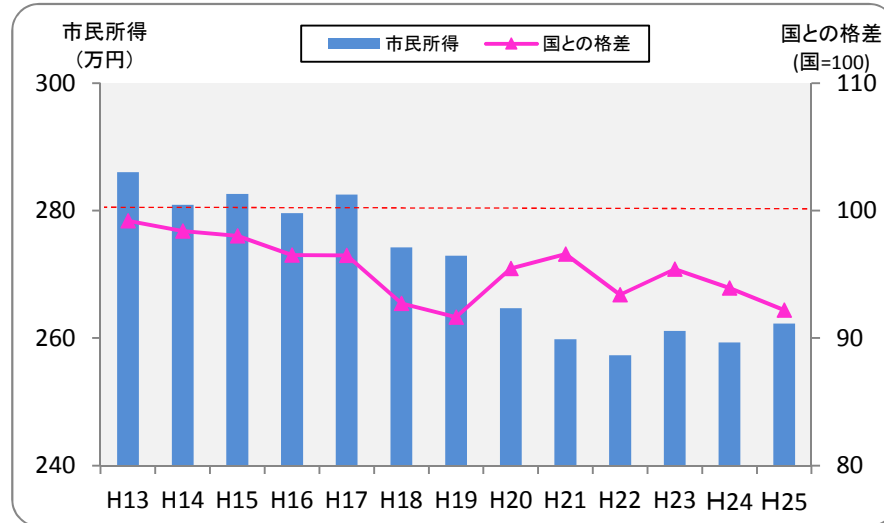
【図15】総生産額・経済成長率の推移



【図16】実質経済成長率(札幌市・北海道・全国)の推移



【図17】札幌市の一人当たり市民所得と国民所得との格差の推移

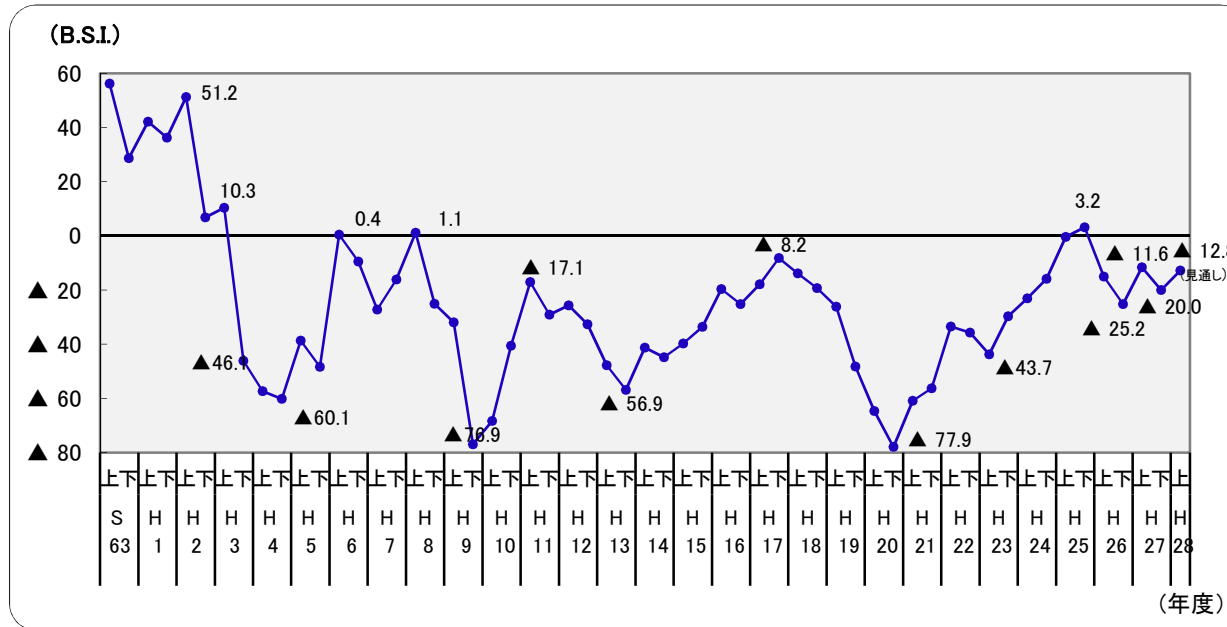


<資料>内閣府「平成25年度国民経済計算」、北海道「平成25年度道民経済計算」、まちづくり政策局政策企画部

- 平成25年度の札幌市の市内総生産は、名目6兆4,896億円（経済成長率+1.6%）、実質6兆7,081億円（経済成長率+1.9%）です。名目は2年振りのプラス、実質は4年連続プラスとなっています（図15）。
- 平成25年度の実質経済成長率は、札幌市+1.9%に対し、全道+2.3%、全国+2.1%となっております（図16）。
- 平成25年度の市民1人当たりの市民所得は、2,623千円で、増加（+1.2%）となりました。平成13年度以降の推移をみると、減少傾向で推移し、21年度は260万円を割りましたが、以降は260万円前後で推移しています。また、札幌市の1人当たり市(国)民所得の対全国比(全国=100)は92.2で、前年度と比べて1.7ポイント低下しました（図17）。

● 市内企業の景況感

【図18】企業経営動向調査の結果



※B.S.I.(景気動向指数)

景気が以前と比較して、「上昇している」と回答した企業の割合から「下降している」と回答した企業の割合を差し引いた数値。札幌市では、毎年度2回調査を実施している。

○平成27年度下期（27年10月～28年3月）の市内の景気について、27年度上期に比べて「上昇」とみる企業の割合（10.4%）から「下降」とみる企業の割合（30.4%）を減じた市内景況判断B. S. I. は、▲20.0であり、前回やや上昇しましたが、今回は下降に転じました（図18）。

● 主要経済指標（その1）

	個人消費								新車登録台数		物価		家計調査			
	百貨店・スーパー販売額(札幌市) (平成27年6月まで大型小売店販売額)								コンビニ販売額		消費者物価指数		名目消費支出(札幌市)			
	百貨店+スーパー		百貨店		スーパー		コンビニ		(札幌運輸局管内)		(札幌市)		全世帯		勤労者世帯	
	(億円)	前年比(%)	(億円)	前年比(%)	(億円)	前年比(%)	(億円)	前年比(%)	(台)	前年比(%)	(H22=100)	前年比(%)	(円)	前年比(%)	(円)	前年比(%)
17年	5,166	▲ 2.7	2,255	▲ 1.9	2,911	▲ 3.2	4,166	▲ 1.5	110,621	▲ 0.9	100.9	▲ 0.1	292,862	▲ 1.8	305,379	▲ 3.5
18年	5,218	1.0	2,217	▲ 1.7	3,001	3.1	4,163	▲ 0.1	108,482	▲ 1.9	101.1	0.2	289,261	▲ 1.2	289,822	▲ 5.1
19年	5,196	▲ 0.4	2,118	▲ 4.5	3,078	2.6	4,091	▲ 1.7	104,333	▲ 3.8	101.0	▲ 0.1	289,715	0.2	300,285	3.6
20年	5,107	▲ 1.7	2,019	▲ 4.7	3,088	0.3	4,251	3.9	95,448	▲ 8.5	103.0	2.0	288,692	▲ 0.4	305,608	1.8
21年	4,924	▲ 3.6	1,783	▲ 11.7	3,141	1.7	4,312	1.5	87,394	▲ 8.4	100.6	▲ 2.3	288,835	0.0	313,775	2.7
22年	4,855	▲ 1.4	1,631	▲ 8.5	3,225	2.7	4,405	2.1	93,351	6.8	100.0	▲ 0.6	300,961	4.2	332,230	5.9
23年	4,910	1.1	1,576	▲ 3.4	3,335	3.4	4,708	6.9	82,756	▲ 11.3	100.2	0.2	270,689	▲ 10.1	282,619	▲ 14.9
24年	4,894	▲ 0.3	1,567	▲ 0.5	3,337	0.1	4,920	4.5	105,030	26.9	100.1	▲ 0.0	281,575	4.0	307,517	8.8
25年	4,949	1.1	1,595	1.7	3,355	0.5	5,073	3.1	112,487	7.1	101.0	0.8	279,190	▲ 0.8	298,615	▲ 2.9
26年	5,079	2.6	1,615	1.3	3,464	3.2	5,248	3.4	114,763	2.0	103.8	2.8	285,154	2.1	299,012	0.1
27年	5,047	1.3	1,616	0.0	3,431	1.9	5,420	3.3	106,026	▲ 7.6	104.4	0.6	272,124	▲ 4.6	301,719	0.9
26年4月	371	▲ 6.4	105	▲ 13.2	266	▲ 3.4	396	1.0	8,050	▲ 12.9	104.3	3.7	324,785	26.3	346,988	29.7
26年5月	399	0.1	118	▲ 4.5	282	2.1	440	4.7	8,170	1.6	104.6	4.2	283,495	15.2	313,948	17.9
26年6月	403	▲ 1.1	124	▲ 4.3	280	0.4	444	2.5	10,854	▲ 0.3	104.5	3.7	269,558	9.9	308,918	16.4
26年7月	420	1.2	135	▲ 1.1	285	2.3	488	4.0	10,949	▲ 3.8	104.4	3.5	277,675	5.2	277,576	▲ 8.3
26年8月	406	2.7	118	1.0	288	3.5	488	3.4	7,345	▲ 3.7	104.5	3.6	347,909	33.2	262,867	▲ 7.6
26年9月	386	1.2	119	▲ 2.2	267	2.8	446	4.3	10,618	▲ 2.7	104.7	2.9	245,883	▲ 5.4	244,805	▲ 14.8
26年10月	413	2.3	131	0.3	282	3.2	447	3.8	8,011	▲ 3.8	104.4	2.7	260,650	▲ 15.0	268,445	▲ 7.8
26年11月	433	4.2	141	1.9	292	5.3	430	2.7	8,171	▲ 9.2	104.2	2.4	253,375	▲ 9.4	272,799	▲ 12.8
26年12月	548	0.2	186	▲ 1.5	362	1.1	466	3.9	7,680	1.9	104.6	2.4	313,528	▲ 13.8	335,067	▲ 14.7
27年1月	422	0.6	142	▲ 0.7	280	1.3	419	4.3	6,342	▲ 24.1	104.1	2.2	263,028	▲ 1.4	300,467	3.0
27年2月	386	3.3	125	6.6	261	1.8	384	2.7	8,004	▲ 18.6	103.5	1.8	244,153	▲ 4.9	261,351	▲ 6.3
27年3月	440	▲ 12.9	145	▲ 18.4	295	▲ 9.9	436	2.1	15,847	▲ 5.3	104.0	2.0	315,734	▲ 1.7	325,239	▲ 15.8
27年4月	407	9.5	119	13.3	288	8.0	428	8.0	8,207	2.0	104.5	0.2	304,047	▲ 6.4	315,790	▲ 9.0
27年5月	423	5.9	126	6.8	297	5.6	456	3.8	7,769	▲ 4.9	104.7	0.1	267,977	▲ 5.5	292,620	▲ 6.8
27年6月	405	0.5	121	▲ 2.0	284	1.5	450	1.2	10,638	▲ 2.0	104.5	0.0	253,193	▲ 6.1	278,206	▲ 9.9
27年7月	420	4.0	140	3.6	280	3.8	504	3.2	10,209	▲ 6.8	104.7	0.4	247,304	▲ 10.9	282,772	1.9
27年8月	402	3.0	120	1.1	283	3.9	504	3.2	6,934	▲ 5.6	104.7	0.2	232,170	▲ 33.3	257,378	▲ 2.1
27年9月	377	1.3	119	0.2	257	1.7	461	3.4	9,948	▲ 6.3	104.7	0.0	267,718	8.9	321,048	31.1
27年10月	409	2.9	133	1.7	275	3.3	464	3.8	7,689	▲ 4.0	104.5	0.0	288,062	10.5	312,307	16.3
27年11月	414	▲ 0.5	136	▲ 3.1	278	0.6	439	2.1	7,776	▲ 4.8	104.5	0.3	280,499	10.7	342,028	25.4
27年12月	541	2.5	188	1.3	352	2.7	475	2.0	6,663	▲ 13.2	104.4	▲ 0.2	301,600	▲ 3.8	331,425	▲ 1.1
28年1月	424	4.3	144	1.3	280	5.6	426	1.6	6,545	3.2	103.6	▲ 0.4	290,718	10.5	303,337	1.0
28年2月	383	3.0	122	▲ 2.6	260	5.6	402	4.9	7,782	▲ 2.8	103.5	0.0	248,330	1.7	276,554	5.8
28年3月	427	0.8	141	▲ 2.8	286	2.5	441	1.1	14,301	▲ 9.8	103.7	▲ 0.3	292,655	▲ 7.3	306,778	▲ 5.7
28年4月	392	0.2	115	▲ 3.6	277	1.9	431	0.8	8,564	4.3	104.2	▲ 0.3	300,614	▲ 1.1	296,570	▲ 6.1
資料	北海道経済産業局								自販連、軽自動車連		総務省統計局		総務省統計局			

※百貨店・スーパー販売額は平成27年7月の商業動態統計改正に伴い、調査対象事業所の見直しを行ったため、前年同月比増減率はギャップ調整処理をした数値で計算している。

また、平成27年6月以前の調査との販売額の比較は、調査対象事業所の違いを考慮する必要がある。

※表中の一部の数字は速報値であるため、のちに発表される確報値と若干異なる場合がある。

※四捨五入の関係で、月別の値と年合計の値が合致しない場合がある。

● 主要経済指標（その2）

	住宅		生産(北海道)				公需(石狩管内)		雇用(札幌圏)				観光(北海道)		倒産(帝国データバンク)		倒産(東京商工リサーチ)					
	新設住宅着工戸数 (札幌市)		鉱工業生産指数 (総合・原指数)		鉱工業生産指数 (季節調整済指数)		公共工事請負額		有効求人倍率		有効求人数		有効求職者数		来道客数		件数		負債額			
	(戸)	前年比 (%)	(H22= 100)	前年比 (%)	(H22= 100)	前月比 (%)	(億円)	前年比 (%)	(倍)	前年差	(人)	前年比 (%)	(人)	前年比 (%)	(千人)	前年比 (%)	(件)	前年比 (%)	(億円)	(件)	前年比 (%)	(億円)
平成17年	28,662	▲ 15.0					1,832	▲ 3.1	0.50	0.05	271,650	5.1	540,921	▲ 4.4	12,794	▲ 0.1	116	18.4	965	229	▲ 5.8	1,077
18年	27,128	▲ 5.4					1,520	▲ 17.1	0.52	0.02	278,810	2.6	532,071	▲ 1.6	13,014	▲ 1.7	147	26.7	1,313	221	▲ 3.5	1,354
19年	20,575	▲ 24.2					1,541	▲ 1.5	0.48	▲ 0.04	255,313	▲ 8.4	533,551	0.3	12,848	▲ 1.3	147	0.0	746	227	▲ 2.7	798
20年	17,996	▲ 12.5					1,399	▲ 9.3	0.42	▲ 0.06	230,995	▲ 9.5	543,985	2.0	12,465	▲ 3.1	198	34.7	696	307	▲ 35.2	795
21年	11,121	▲ 38.2	94.3	▲ 13.8			1,504	▲ 7.5	0.31	▲ 0.11	194,393	▲ 15.8	634,902	16.7	11,574	▲ 7.1	154	▲ 22.2	1,449	215	▲ 30.0	1,404
22年	13,546	▲ 21.8	100.0	▲ 6.0			1,526	▲ 1.5	0.33	0.02	220,864	13.6	659,521	3.9	11,442	▲ 1.1	145	▲ 5.8	296	194	▲ 9.8	350
23年	16,116	▲ 19.0	100.5	▲ 0.5	100.6		1,306	▲ 14.4	0.38	0.05	252,147	14.2	676,014	2.5	10,533	▲ 7.9	144	▲ 0.7	295	186	▲ 4.1	279
24年	18,091	▲ 12.3	100.4	▲ 0.1	100.4	▲ 0.2	1,401	▲ 7.3	0.49	0.11	310,416	23.1	635,073	▲ 6.1	11,648	10.6	158	▲ 9.7	338	176	▲ 5.4	347
25年	16,688	▲ 7.8	100.9	▲ 0.5	100.9	0.5	1,609	▲ 14.8	0.65	0.16	372,253	19.9	573,808	▲ 9.6	12,146	4.3	118	▲ 25.3	5,266	133	▲ 24.4	5,289
26年	15,399	▲ 7.7	98.0	▲ 2.9	98.1	▲ 2.8	1,727	▲ 7.3	0.80	0.14	409,438	10.0	514,841	▲ 10.3	12,236	0.7	119	0.8	122	132	▲ 0.8	131
27年	16,393	▲ 6.5	95.2	▲ 2.9	95.2	▲ 3.0	1,605	▲ 7.1	0.92	0.13	450,486	10.0	489,864	▲ 4.9	12,658	3.5	102	▲ 14.3	312	109	▲ 17.4	320
26年3月	1,294	▲ 1.4	102.3	▲ 2.5	102.2	▲ 1.0	145	▲ 20.1	0.78	0.17	34,503	14.8	43,984	▲ 11.3	976	6.8	16	14.3	20	22	▲ 57.1	21
26年4月	1,559	▲ 2.5	93.9	▲ 3.7	96.1	▲ 2.3	324	▲ 55.1	0.74	0.17	35,025	14.9	47,421	▲ 11.6	786	0.1	10	▲ 33.3	6	8	▲ 50.0	2
26年5月	957	▲ 14.0	95.1	▲ 3.1	98.7	▲ 0.5	198	▲ 39.1	0.73	0.16	34,663	14.0	47,276	▲ 11.5	991	0.2	6	▲ 53.8	7	9	▲ 30.8	10
26年6月	1,473	▲ 6.7	97.6	▲ 3.2	96.2	▲ 3.1	262	▲ 0.3	0.76	0.15	34,609	11.6	45,557	▲ 10.6	1,053	▲ 2.3	8	▲ 14.3	8	9	▲ 12.5	7
26年7月	1,390	▲ 4.9	102.4	▲ 2.7	98.4	▲ 2.7	272	▲ 3.7	0.79	0.12	34,942	6.4	44,189	▲ 9.7	1,180	▲ 0.3	7	▲ 30.0	7	9	▲ 25.0	8
26年8月	1,286	▲ 25.3	93.6	▲ 5.1	96.9	▲ 1.9	129	▲ 39.2	0.81	0.11	34,810	3.9	43,011	▲ 9.7	1,396	▲ 2.3	13	30.0	9	14	▲ 7.7	11
26年9月	1,391	▲ 35.5	101.3	▲ 1.8	98.4	▲ 1.5	110	▲ 16.5	0.84	0.11	35,576	5.0	42,404	▲ 9.0	1,216	▲ 0.2	4	▲ 42.9	1	5	▲ 50.0	1
26年10月	1,983	▲ 12.1	105.4	▲ 4.8	96.5	▲ 1.9	104	▲ 2.9	0.86	0.12	36,320	6.2	42,068	▲ 9.2	1,111	▲ 0.1	13	62.5	8	13	116.7	12
26年11月	1,717	▲ 173.1	97.5	▲ 6.9	95.1	▲ 1.5	28	▲ 33.3	0.87	0.11	34,575	3.9	39,554	▲ 9.6	927	2.2	8	▲ 14.3	7	8	▲ 0.0	8
26年12月	1,363	▲ 35.1	98.7	▲ 6.7	94.8	▲ 0.3	92	▲ 50.1	0.88	0.14	32,858	10.4	37,139	▲ 8.2	928	0.2	6	▲ 14.3	5	8	▲ 14.3	8
27年1月	291	▲ 23.6	89.1	▲ 6.2	97.1	▲ 2.4	23	▲ 24.0	0.87	0.13	33,018	10.4	37,915	▲ 6.7	848	0.4	4	▲ 75.0	1	4	▲ 76.5	0
27年2月	697	▲ 15.2	89.5	▲ 3.9	97.1	0.0	14	▲ 56.6	0.88	0.12	35,264	11.4	40,154	▲ 3.5	895	8.1	11	▲ 8.3	28	11	▲ 10.0	31
27年3月	1,076	▲ 16.8	98.2	▲ 4.0	98.1	▲ 1.0	72	▲ 49.7	0.89	0.11	38,422	11.4	43,011	▲ 2.2	977	0.2	17	6.3	102	24	▲ 9.1	121
27年4月	1,910	▲ 22.5	94.9	▲ 2.6	97.3	▲ 0.8	329	▲ 1.4	0.83	0.09	38,143	8.9	45,859	▲ 3.3	822	4.6	7	▲ 30.0	23	8	▲ 0.0	23
27年5月	1,072	▲ 12.0	88.4	▲ 7.5	91.7	▲ 5.8	199	▲ 0.8	0.84	0.11	37,539	8.3	44,576	▲ 5.7	1,029	3.7	4	▲ 33.3	4	2	▲ 77.8	1
27年6月	1,423	▲ 3.4	97.9	▲ 0.7	96.0	▲ 4.7	254	▲ 2.8	0.88	0.12	38,001	9.8	43,265	▲ 5.0	1,083	2.9	8	0.0	37	9	▲ 0.0	31
27年7月	1,743	▲ 25.4	99.9	▲ 3.1	95.7	▲ 0.3	217	▲ 20.3	0.93	0.14	38,756	10.9	41,519	▲ 6.0	1,221	3.5	10	42.9	23	9	▲ 0.0	24
27年8月	1,880	▲ 46.2	92.7	▲ 1.0	96.0	▲ 0.3	114	▲ 11.6	0.96	0.15	39,204	12.6	40,863	▲ 5.0	1,404	0.6	7	▲ 46.2	5	11	▲ 21.4	8
27年9月	1,767	▲ 27.0	97.1	▲ 4.1	93.4	▲ 2.7	101	▲ 7.8	0.98	0.14	39,371	10.7	40,009	▲ 5.6	1,271	4.5	11	175.0	23	9	▲ 80.0	20
27年10月	1,444	▲ 27.2	100.6	▲ 4.6	93.0	▲ 0.4	95	▲ 8.6	1.01	0.15	39,613	9.1	39,305	▲ 6.6	1,154	3.9	4	▲ 69.2	2	8	▲ 38.5	4
27年11月	1,642	▲ 4.4	96.4	▲ 1.1	93.1	0.1	171	▲ 506.7	1.00	0.13	37,792	9.3	37,651	▲ 4.8	959	3.4	10	25.0	6	7	▲ 12.5	2
27年12月	1,448	▲ 6.2	97.4	▲ 1.3	93.5	▲ 0.4	15	▲ 83.9	0.99	0.11	35,363	7.6	35,737	▲ 3.8	994	7.2	9	50.0	58	7	▲ 12.5	55
28年1月	453	▲ 55.7	85.2	▲ 4.4	93.7	▲ 0.2	14	▲ 40.1	0.96	0.09	34,712	5.1	36,297	▲ 4.3	914	7.7	9	125.0	5	10	▲ 150.0	12
28年2月	600	▲ 13.9	88.5	▲ 0.8	93.0	▲ 0.7	16	▲ 16.2	0.95	0.07	36,060	2.3	38,137	▲ 5.0	934	4.4	11	0.0	276	11	▲ 0.0	275
28年3月	1,566	▲ 45.5	96.8	▲ 1.5	94.2	▲ 1.7	147	▲ 104.1	0.94	0.05	38,048	▲ 1.0	40,491	▲ 5.9	1,032	5.6	7	▲ 58.8	7	9	▲ 62.5	3
28年4月	2,116	▲ 10.8	91.2	▲ 4.0	94.0	▲ 0.2	410	▲ 24.9	0.89	0.06	37,990	▲ 0.4	42,775	▲ 6.7	935	13.7	7	0.0	34	9	▲ 12.5	34
28年5月							247	▲ 23.9	0.89	0.05	37,169	▲ 1.0	41,735	▲ 6.4	1,098	6.8	10	150.0	38	10	▲ 400.0	38
資料	国土交通省		北海道経済産業局		北海道経済産業局		北海道建設業信用保証(株)		北海道労働局				(社)北海道観光振興機構		(株)帝国データバンク		(株)東京商工リサーチ					

※表中の一部の数字は速報値であるため、のちに発表される確報値と若干異なる場合がある。

※鉱工業生産指数について、24年5月まではH17を基準年、24年6月以降はH22を基準年としている。

※四捨五入の関係で、月別の値と年合計の値が合致しない場合がある。